

野村信晴

川
江
清
七

平井初五郎

昭和十九年十月三十日

西多摩郡福生町長 田村和

西多摩地方事務所長久保下久二殿

昭和十九年福生町第六回町會議狀況及結果報告

職氏名	參獎自 功役書記 石川七郎 存藤忠藏 川邊堅一
議員	出席者數 一三人 缺席者數 五人 署名議 員氏名 手井初五郎 岸德次郎 野村信晴 川窪清七
開會	昭和十九年十月三十日午前九時半分 昭和十九年十月三十一日十時四分 會議場所 福生町役場

果

福生町役及其、賦課徴収條例訂定、件

原案可決

昭和九年度福生町民税算定ノ件

11

寄附受領件

即日原案

福
第二四七八號

昭和十九年十一月三十日
昭和十九年十一月三十日

淨書

校合

十月二十七日發送

村長

助役

主任

關係書記

年
月
日

生町

町會議員各宛

衣記一件 議定 爲來月十月三十日午前九時第六回町會ヲ當町

役場ニ開會致候條此般及通知矣也

記

一 福生町税及其賦課徴収條例設定一件

二昭和十九年度福生町民税算定、件

三寄附受領件

金日 議 事 件 結果

一 青柳賣給、計 福生町役及其、贈課徴収條例訂定、件

二 田村十八年夏秋田刈算、計 田村算定、件

一 跡田縣及其、換縣對新田給與、計 即日受領

外 縣二開會庭新地及新地、計

文時、計 義典、爲來八十月三十日午兩八部長大田田會、計

田會給與谷米

關主西曼

年月日

林 具 祖 野

關給書頭 主 計

關給書頭 主 計 封封主封 十日二十日 日給給

福生町會議員名簿 (昭和十五年十二月一日選舉)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
田村富十郎	土屋楨重	村尾春吉	野村信晴	今里田信	高橋頼四	平井初五郎	如藤市藏	森田誠重
一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇
高橋角藏	岸徳次郎	野島 毎	細谷善藏	井梅埔十郎	川窪清七	森田廣昭	横田壽照	

田村町長 石川昭茂

昭和十八年十月三十日制定

市税条例

本町税及其賦課徴収條例

計開其、賦課徴収條例施行、

第一章 總則

藤生町税及其賦課徴収條例

第一章 總則

第一條

本町税及其賦課徴収ニ関シテハ法令其他別段ノ定メアルモノヲ除ク外本條例ノ定ムルニ依ル

第二條

町税トシテ賦課スベキモノ左ノ如シ

普通税

一 國税附加税

地租附加税

家屋税附加税

營業示税附加税

二 都税附加税

段別税附加税

自動車税附加税

電柱税附加税

不動産取得税附加税

狩猟者税附加税

三 獨立税

町民税

自轉車税

金庫税

屠畜税

犬税

第三條

町税ハ別表ニ定ム賦課率又ハ賦課定額ニ依リ之ヲ賦課徴收ス

第四條

町税ノ賦課率又ハ通税ニ係ルモノハ之ヲ賦課スベカリシ
年度ノ賦課率又ハ賦課定額ニ依リ其ノ金額ヲ一時ニ

第五條

賦課徴收ス

獨立税ヲ賦課セラルベキ事實ノ発生シタルトキ又ハ消滅シ
タルトキハ納税義務者ハ其ノ発生又ハ消滅ノ日ヨリ七日以
内ニ之ヲ町長ニ届出ズベシ其ノ届出事項ニ異動アリタル
トキ亦同ジ

第六條

前項ノ届出事項ハ別ニ町長之ヲ定ム

前條ノ届出ヲ為サザルトキ又ハ届出ヲ不相當ト認ムルト
キハ町長ニ於テ其ノ届出ツベキ事項ヲ認定スルコトヲ得
地方税法第三十二條ノ規定ニ依ル納税管理人之申告
ハ町税ノ賦課セラルベキ事實ノ発生シタルトキヨリ十日以
内ニ町長ノ定ムル所ニ依リ之ヲ為スベシ

第七條

第二章 賦課

第八條

國税附加税及都税附加税ノ賦課期日ハ各本税ヲ賦
課セラルベキ期日現在トス

第九條

國稅附加税及郡稅附加税ハ本稅額ヲ標準トシ各本稅ヲ納ムル者ニ之ヲ賦課ス

第十條

町民稅ハ見立ニ依リ之ヲ賦課ス

各納稅義務者ノ賦課額ハ毎年十月三十一日迄ニ町會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

賦課額ノ誤謬又ハ賦課減額アレタルトキハ前項ニ依リ決定セラレタル納稅義務者ノ賦課額ニ比準シテ町長之ヲ定ム

第十一條

獨立稅中自轉車稅、金庫稅、及犬稅ハ年稅トシ毎年四月一日ヲ賦課期日トス屠畜稅ハ隨時稅トシ獸畜屠殺ノ日ヲ以テ賦課期日トス

第十二條

自轉車稅ハ自轉車（荷臺附自轉車ヲ含ム）ニ對シ定額ヲ以テ之ヲ賦課ス

第十三條

金庫稅ハ金庫ノ外法依價ヲ標準トシ之ヲ賦課ス

第十四條

屠畜稅ハ屠畜ニ對シ定額ヲ以テ之ヲ賦課ス

第十五條

犬稅ハ犬ニ對シ定額ヲ以テ之ヲ賦課ス

第十六條

左ニ掲グルモノニ對シテハ町稅獨ニ稅ヲ免除ス

一神社、宗教團體法ニ規定スル宗教團體ニ對スル町民稅

二外國ノ公館ニ勤務スル外國人ニ對スル町民稅

三小型小車用自轉車

四自轉車ノ營業者ニシテ車係試驗ノ爲メ所定ノ表

示ヲ爲シ使用スル自轉車但シ營業者一人ニ付一輛ニ限ル

五軍人傷痍記念章ヲ授與セラレタル者ノ所有スル自轉車但シ一人ニ付一輛ニ限ル

六、外債償還四百立方枳不満、金庫

七、軍用大侯補トシテ合格証明書、交付ヲ受タル犬

ハ、盲人、專用スル七日導犬

九、母犬ニ伴フ生後三ヶ月ヲ経過セザル犬

一〇、商品ニシテ使用セザル物件

二、貧困ニ因リ生活ノ為メ公費、救助ヲ受クル者ノ所有
スル自轉車、但シ一世帯ニ付テ一輛ニ限ル

一、戰時受難ノ為メ應召若クハ出動シタル軍人軍屬及
同居スル家族若ハ遺族ニシテ生活困難ナリト町長ニ於テ
認メタルモノ

一、三、前各條トノ權衡上又ハ特別ノ事由ニ依リ町長ニ於テ
必要アリト認メタルモノ

第三章 徴収

第一節 普通徴収

第七條

國稅附加稅及郡稅附加稅ハ各本稅ノ徴收期ニ於テ之
ヲ徴收ス但シ本稅ニシテ分割ヲ要スルモノハ賦課シ得ハキ
事ヲ完了後ハ是ニシタルトテヨリ三十日以内ニ之ヲ徴收ス

第八條

獨立稅中半稅ニ在リテハ其ノ年六月一日ヨリ七月三十一日限
リ一期ニ之ヲ徴收ス但シ賦課期日後新ニ納稅義務者ノ登出
シタルモノニ付テハ其ノ賦課額決定ノトキ之ヲ徴收ス

第九條

獨立稅中隨時稅ニ在リテハ賦課額決定ノ都度之ヲ徴收
ス

第十條

獨立稅中町民稅ニ在リテハ其ノ年十一月一日ヨリ十二月三十一日限
リ一期ニ之ヲ徴收ス

第十一條

町稅々々書目ハ徴收期限前十日届ニ之ヲ登ス

第十二條

徴稅令書ヲ受テタル納稅者納期限迄ニ稅金ヲ完納セザ

第三十二條

ル者アルトキハ納期限後ニ目目迄ニ督促状ヲ発ス
前項ノ督促状ハ督促状発付ノ日ヨリ十日目ノ期限ヲ指
定ス

督促状ヲ発シタルトキハ督促状一通ニ付金貳拾銭ノ手数料
ヲ徴收ス但シ督促状受ケタル者本町以外ノ市町村ニ在
ルトキハ郵便ヲ以テスル場合ニ於テハ其ノ實費ヲ増予
教科トシテ徴收ス

第三十三條

前項ノ手数料ハ滞納金ト同時ニ之ヲ徴收ス
第三十二條ノ指定期ニ之ヲ完納セザル者ニ對シテハ六十日以
内ニ滞納処分ニ着手ス

第三十五條

延滞金ハ一日ニ付税金額ノ壹万分ノ四ノ割合ヲ以テ計
算シタル額ヲ滞納金ト同時ニ徴收ス
前項ノ延滞金ニシテ清状ニ因リ徴收セザルコトヲ得ルモノノ

第三十六條

範圍ハ町長之ヲ定ム

納税者ノ在ル各郷ノニ該當スルトキハ納税延期ヲ得
コトヲ得

一本町ノ全部又ハ一部ニ亘リ災害アリタルトキ

ニ附加税ニシテ其ノ本税ノ納税ヲ延期セラルタルトキ

ニ傳染病豫防ノ為メ交通遮断セラレ納税シ難キナル

トキ

四戰時ノ變又ハ為メ従軍シタル同居ノ家族が従軍シ
タルニ因リ納税困難ニ陥リタルト認ムルトキ

五前各郷ノ外持ニ必要アリト認ムルトキ

第二節 特別徴收

第三十七條

屠畜税ニ付テハ屠場経営者又ハ町長ニ於テ指定シタ
ル者ヲ以テ特別徴收義務者トシ獸畜所有者ノ納付スベ

第三十八條

市層有畜税ヲ徴收セシム
特別徴收義務者ハ町長ノ定ムル所ニ依リ該税上必要ナル帳簿ヲ備ヘ當該事項ヲ記載スベシ

第三十九條

特別徴收義務者ハ層畜税ニ在リテハ毎月十日前ヨリ町目分ノ層畜税ヲ收入役ニ納付スベシ

第四十條

特別徴收義務者ニ交付スベキ町税取扱費ハ納入金額ノ百分ノ四トス前項ノ納入金額ハ第三十條ノ還付金アリタル場合ニ於テハ之ヲ控除シタル金額トス

第四十一條

特別徴收義務者其ノ徴收スベキ層畜税ニ其當ノ事由ニ因リ徴收スルコト能ハザリシ為メ納税金額ノ還付ヲ受ケントスルトキハ其ノ事實發生ノ日ヨリ七日以内ニ左ノ事項ヲ記載シタル還付申請書ヲ町長ニ提出スベシ

一 徴收スルノ能ハザリシ事由

二 納付年二日

三 過納金

四 其他町長ニ於テ定メタル事項

第四十二條

前項ノ還付申請書ノ提出ニ必要ナル事項ハ町長之ニ定ムル特別徴收義務者ニ對シテハ其ノ事故ニ因リ納税ノ完全ヲ失ヒタルトキハ其ノ事故發生シタル日より五月以内ニ左ノ事項ヲ記載シタル税金納入義務ノ免除申請ヲ町長ニ提出スベシ

一 避ケベカラザル事故ニ因リ納税ノ税金ヲ失ヒタル事由

二 其他町長ニ於テ定メタル事項

第四十三條

第三十條乃至第三十五條ノ規定ハ特別徴收義務者ノ納入金ニ付テハ準用ス